

経口的咽喉頭部分切除術（TOVS）術後急性期 嚥下機能の臨床経過の分析に関する研究

1. 研究の対象

2010年4月～2016年3月まで防衛医科大学校病院耳鼻咽喉科にて、中咽頭癌・下咽頭癌・声門上癌に対し経口的咽喉頭部分切除術（TOVS）を受けられた方です。

2. 研究目的・方法

TOVS後の嚥下機能（飲み込みの機能）については、知覚神経の損傷がないことや喉頭挙上が温存されること、原則として気管切開を必要としないことより、良好であるといわれています。しかし術後早期には、嚥下障害を合併することがあります。

そこで今回は、過去に当院にてTOVSを受けられた患者さんのデータを解析することにより、術後早期の嚥下機能の詳細を分析し、今後の術後管理の一助とします。

TOVS術後4週までの嚥下機能を、診療録をもとに詳細に調査し、多変量解析を用いて予測式を作成することにより、術後の嚥下機能の予測を可能とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、年齢、性別、嚥下造影所見、手術所見、食事摂取状況等を診療録から収集します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校耳鼻咽喉科学講座
〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2
谷合 信一（たにあい しんいち）
TEL：04-2995-1686（医局直通）
FAX：04-2996-5212